

伊丹市
こども世代に対する
文化に関するアンケート調査
報告書



伊丹市マスコット たみまる

令和5（2023）年12月

伊丹市

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の対象	1
3. 調査の方法	1
4. 調査期間	1
5. 回答状況	1
6. 報告書の見方	1
II 調査の内容	2
1. 文化芸術の鑑賞について	2
2. 文化芸術の活動について	2
III 調査結果の総括	3
1. 文化芸術の鑑賞について	3
2. 文化芸術の活動について	6
IV 調査結果	9
1. 回答者の属性	9
2. 文化芸術の鑑賞について	12
3. 文化芸術の活動について	18

I 調査概要

1. 調査の目的

「(仮称)伊丹市文化振興ビジョン」の策定にあたり、こども世代の文化への関わりの状況を参考に
するため。

2. 調査の対象

- ・令和5年度(2023年度)の市内中学校在校生5,233人(5月1日現在)のうち約1,080人を抽出(全139
クラスのうち27クラスを抽出。1クラス40人と想定)
- ・令和5年度(2023年度)の市内高等学校在校生3,681人(全生徒)

3. 調査の方法

伊丹市スマート申請システムによるWEBアンケートを実施。タブレット端末やスマートフォンを活用
し、二次元コード又はURLから回答フォームへアクセスし、回答。

4. 調査期間

令和5年(2023年)6月5日～7月20日頃(各校終業式実施日まで)

5. 回答状況

- | | |
|----------|------------------|
| (1) 中学校 | 840件(回答率77.8%) |
| (2) 高等学校 | 2,956件(回答率80.3%) |

6. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n(number of case)」は、回答者数を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2
位で四捨五入している。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であ
っても合計が100.0%にならない場合がある。また、複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選
択肢を選ぶ方式)の設問の場合は、選択肢毎の回答数に対して、それぞれの割合を示してい
る。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (3) グラフ等の回答・選択肢については、文章・表現などを一部省略している場合がある。

Ⅱ 調査の内容

本調査では、こどもの文化芸術への親しみの度合いを図るため、大きく「鑑賞」と「活動」の2点に絞り、以下のとおり6つの質問を設けた。また、全質問において回答選択肢の中から該当する項目を選択する方式とし、「その他」による自由記述も可とした。

1. 文化芸術の鑑賞について

質問①あなたが、この1年間にホールや劇場などに行って実物を直接鑑賞したことのある文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

質問②あなたが、今後、ホールや劇場などに行って実物を直接鑑賞したいと思う文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※これまで鑑賞したことのある文化芸術も含む

質問③あなたが、この1年間にテレビ、ラジオ、インターネット配信（スマホやタブレットなど）、CD・DVDなどにより、鑑賞したことのある文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

2. 文化芸術の活動について

質問④あなたが、この1年間に自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりした文化芸術活動を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

質問⑤あなたが、今後、自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりしたいと思う文化芸術活動を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※現在取り組んでいる文化芸術活動も含む

質問⑥あなたが、幼少期（小学校を卒業するまでの間）に自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりした文化芸術活動を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く

Ⅲ 調査結果の総括

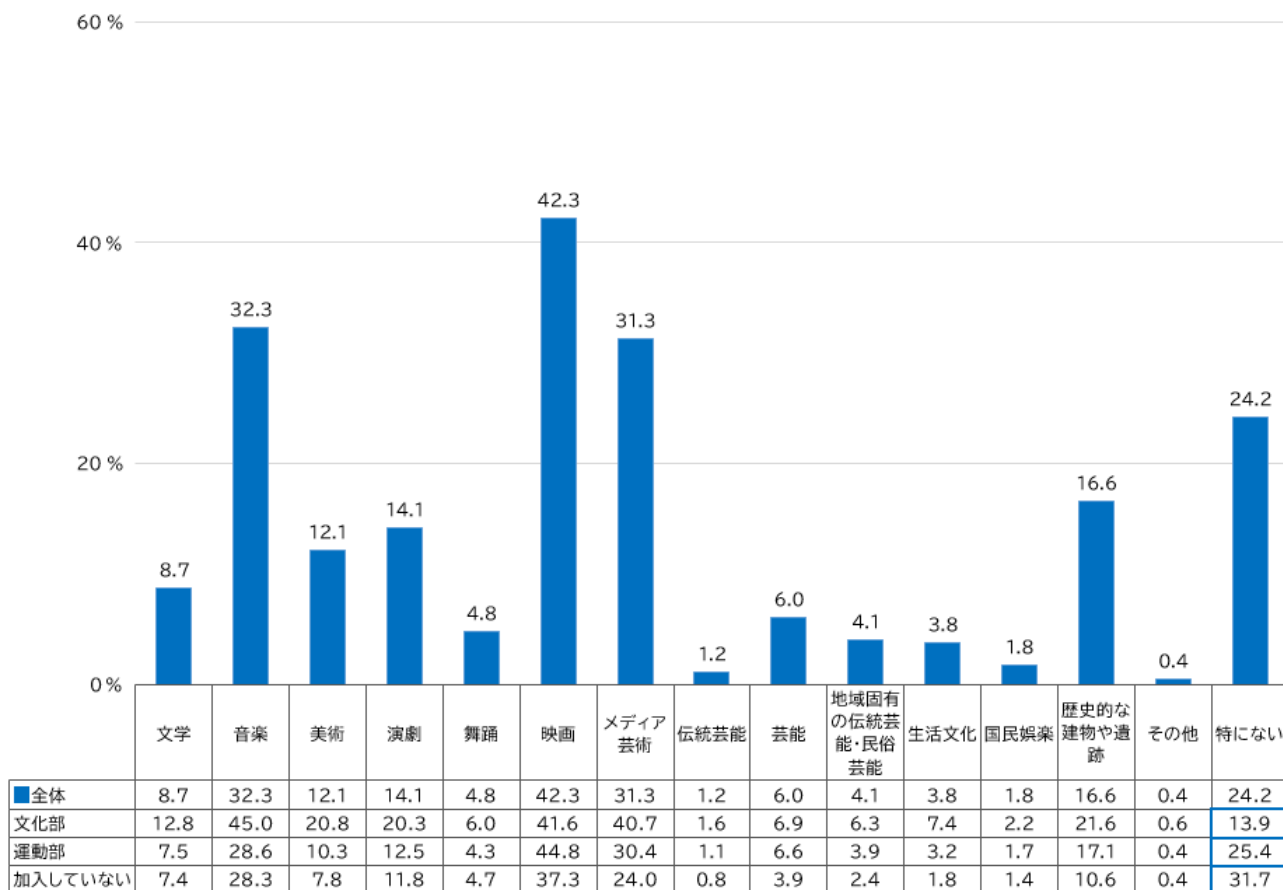
1. 文化芸術の鑑賞について

(1) 直接鑑賞の状況

この1年間に直接鑑賞したことがある文化芸術は、「映画」「音楽」「メディア芸術」の順に高く、3割以上が鑑賞している実態があるものの、その他の分野は2割以下の水準となっており大きな開きがある。

部活動別では、直接鑑賞の機会が「特にない」の割合が、部活動に非加入では3割以上、運動部では2割以上であるのに対して、文化部では1割程度であることから、文化部の鑑賞頻度が高い傾向がうかがえる。また、「映画」以外のすべての分野で文化部の鑑賞機会が高くなっている。

文化芸術の鑑賞について(直接)



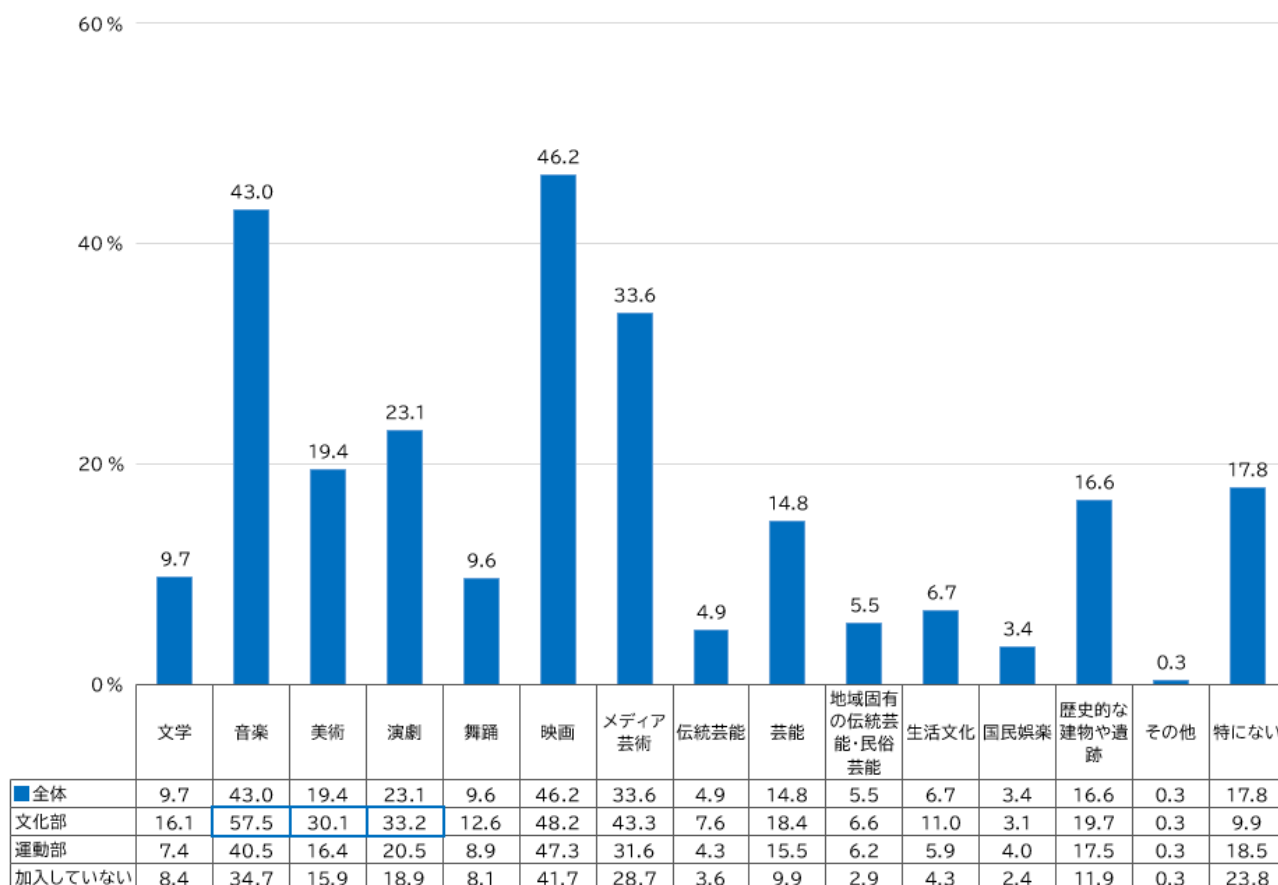
文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

(2) 今後の鑑賞意向

今後の文化芸術の鑑賞意向は、直接鑑賞と同じく「映画」「音楽」「メディア芸術」の順に高く、いずれも3割以上となっており、その他の分野と大きな開きがある。また、「音楽」は鑑賞意向が直接鑑賞より10ポイント以上高くなっている。

部活動別では、文化部は「国民娯楽」以外のすべての分野で鑑賞意向が高くなっており、特に「音楽」「演劇」「美術」は全体平均よりも10ポイント以上高く、直接鑑賞の状況と今後の鑑賞意向に正の相関関係がうかがえる。

今後鑑賞したいと思う文化芸術について(直接)



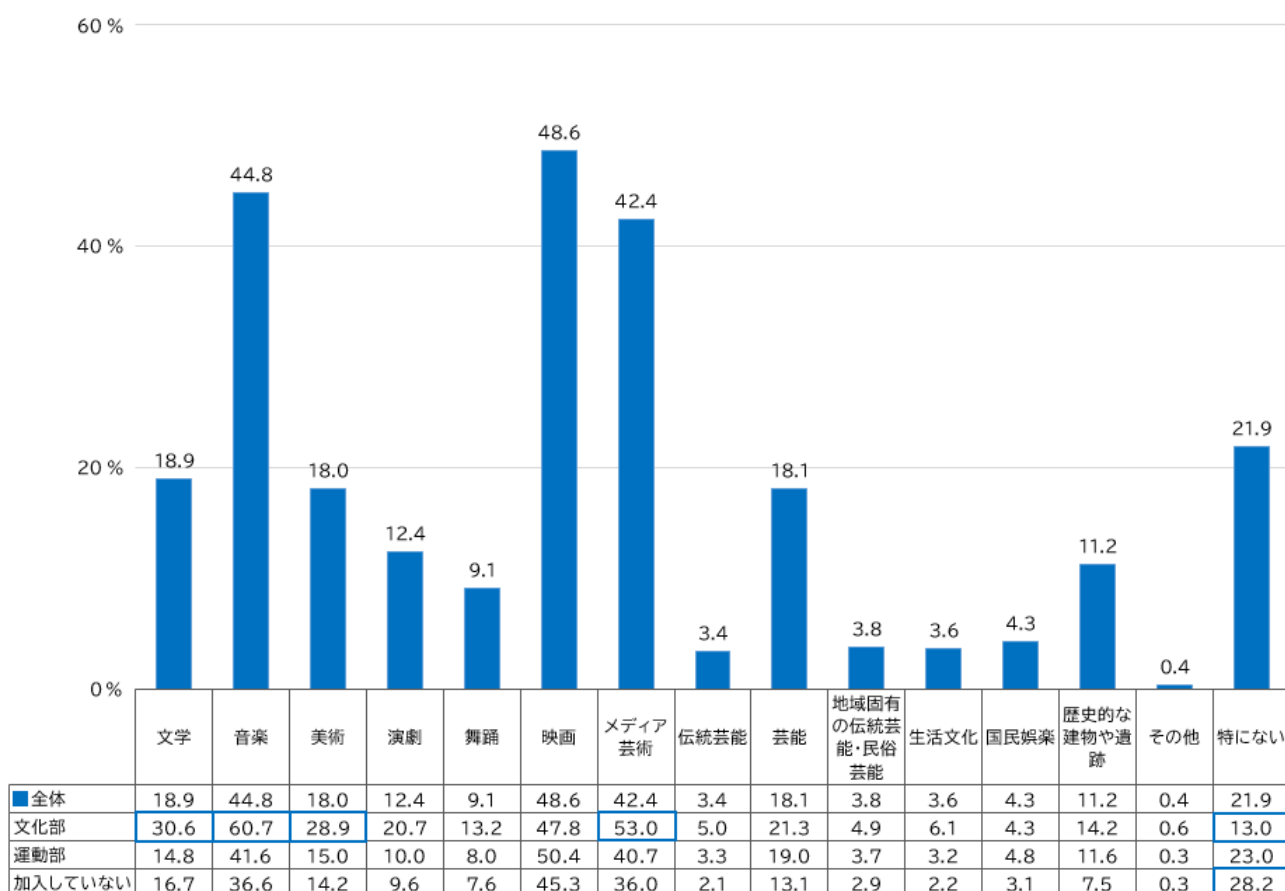
文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

(3) デジタルによる鑑賞

この1年間にデジタル機器等により鑑賞したことがある文化芸術は、「映画」「音楽」「メディア芸術」の順に高く、4割以上が鑑賞している実態があり、直接鑑賞と同様の関心の高さがうかがえる。また、多くの分野で直接鑑賞よりも回答割合が高くなっており、近年、デジタル化が急速に進展したことにより、鑑賞の手法が多様化していると考えられる。

部活動別では、「音楽」「文学」「美術」「メディア芸術」で文化部の鑑賞機会が全体平均よりも10ポイント以上高くなっている。また、部活動に非加入の「特にない」の割合は、文化部に比べて2倍以上高くなっている。

文化芸術の鑑賞について(デジタル)



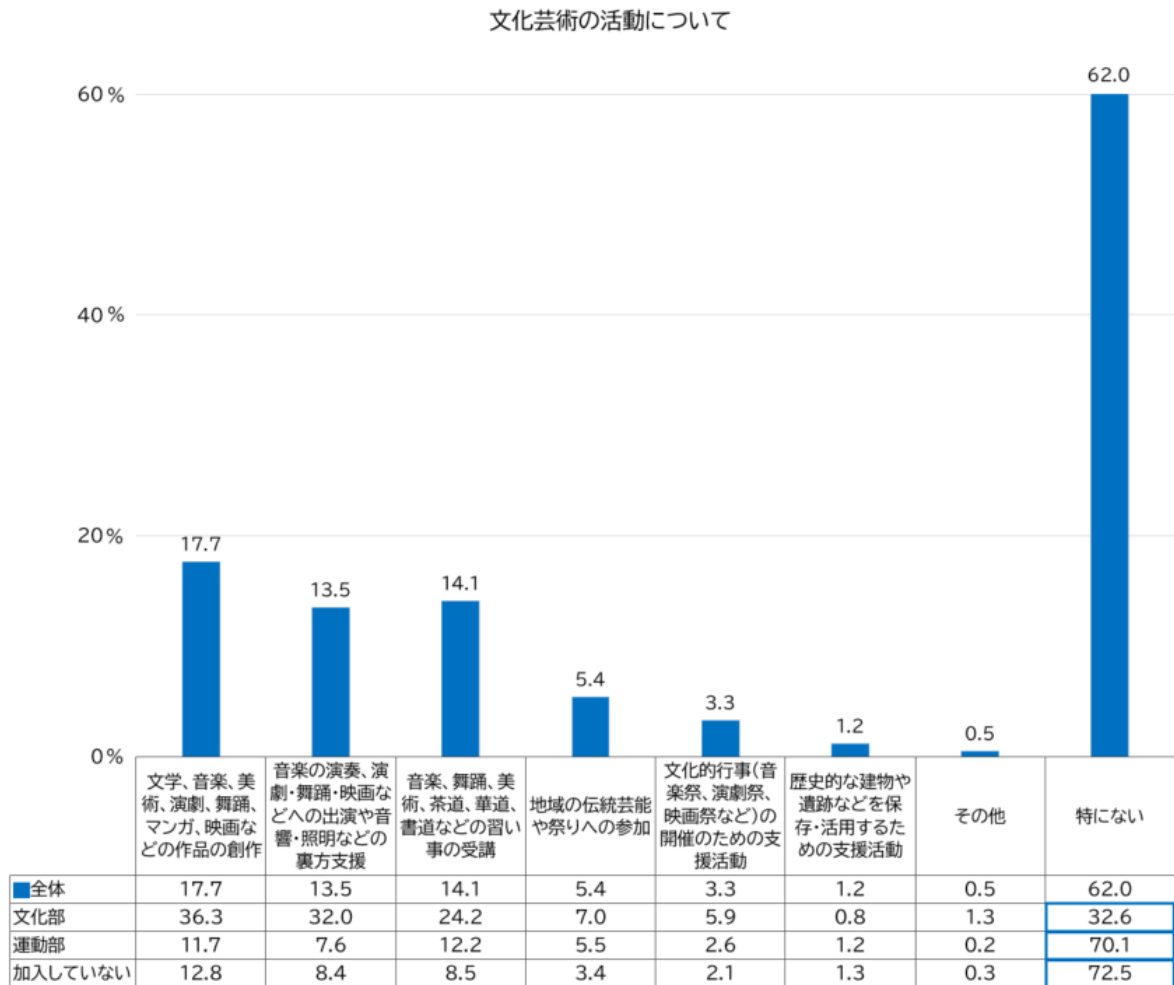
文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

2. 文化芸術の活動について

(1) 活動の状況

約6割の人は、この1年間に文化芸術活動を行っていないが、約4割は何らかの文化芸術活動を自分自身で行っている。

部活動別では、運動部および非加入の「特にない」の割合は、文化部に比べて2倍以上高くなっている。

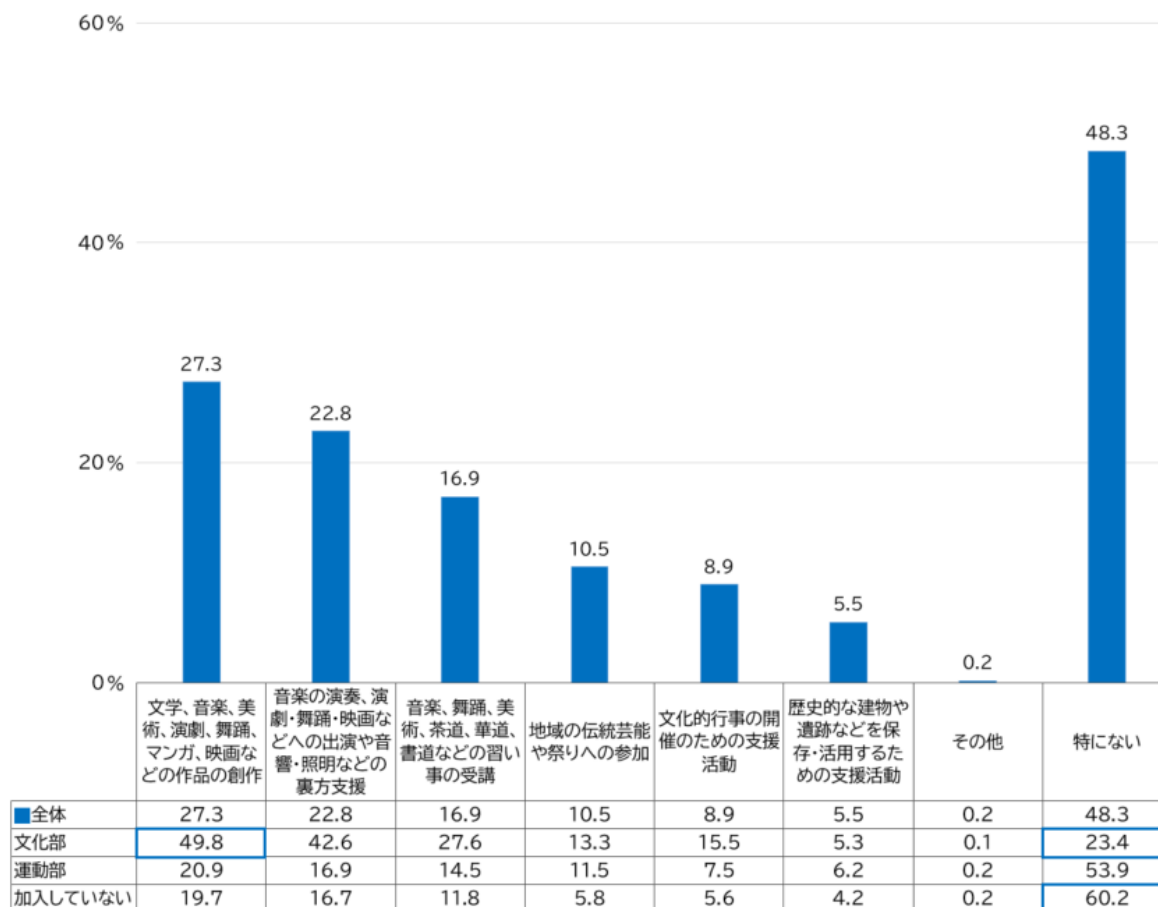


(2) 今後の活動意向

今後の文化芸術活動の意向は、「その他」以外のすべての項目で実際に活動した割合よりも高くなっており、「作品の創作」「出演や裏方支援」では10ポイント程度高くなっている。一方、「特にない」の割合は実際の活動状況から10ポイント以上低くなっているものの、約5割が今後も活動意向がないと回答している。

部活動別では、文化部は「作品の創作」が約5割となっており、今後の活動意向の高さがうかがえる。また、運動部および非加入の「特にない」の割合は、文化部に比べて2倍以上高くなっている。

今後取り組みたいと思う文化芸術の活動について



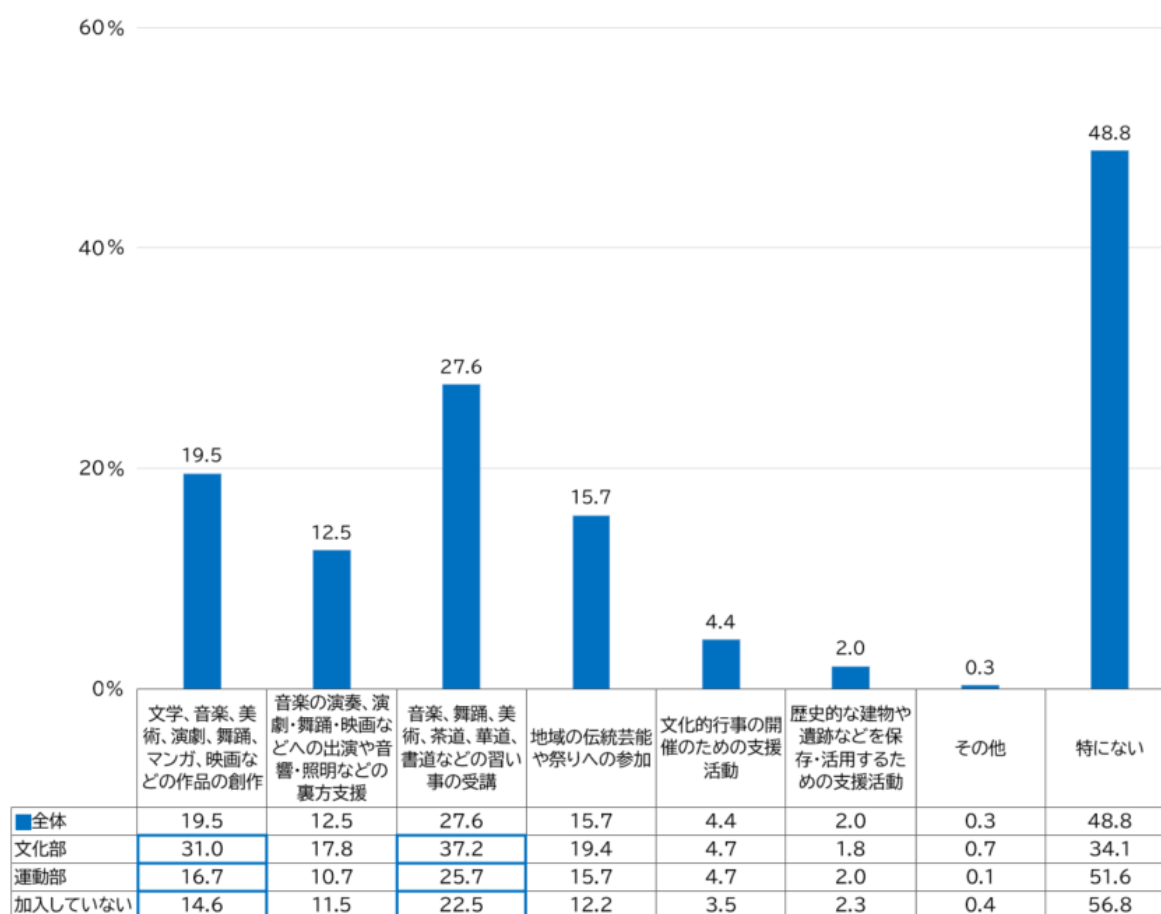
(3) 幼少期の活動

全体の約半数が幼少期に何かしらの文化芸術活動を行っており、そのうち「習い事の受講」が約3割で最も高い。また、幼少期の活動体験が「特にない」の割合と、前記(1)におけるこの1年間に何らかの文化芸術活動を行ったことが「特にない」の割合は10ポイント以上の差があり、心身の成長にともない文化芸術以外の活動に移った可能性を示すものと考えられる。

部活動別では、文化部は「習い事の受講」と「作品の創作」が運動部および非加入に比べ顕著に高くなっている。

また、幼少期の文化芸術活動の状況から各質問の回答状況をみると、全ての項目において、幼少期に何かしらの活動体験があると回答した人が、「特にない」と回答した人を上回っており、幼少期の活動体験が、後の文化芸術への関わりに少なからず影響していることがうかがえる。

幼少期の文化芸術の活動について



IV 調査結果

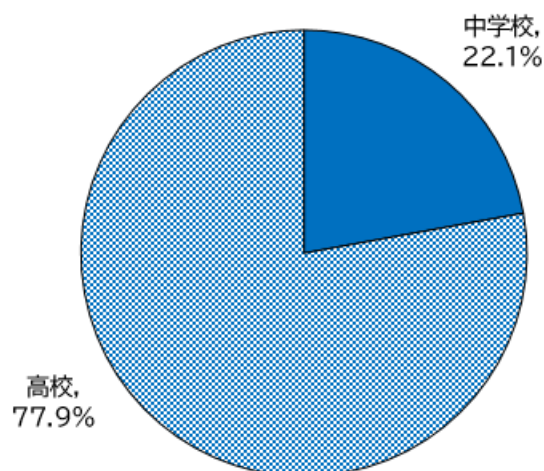
1. 回答者の属性

(1) 校種

問. 通学している学校について教えてください。

「高校」が77.9%、「中学校」22.1%となっており、高校が中学校よりも55.8ポイント高くなっている。

図1 校種

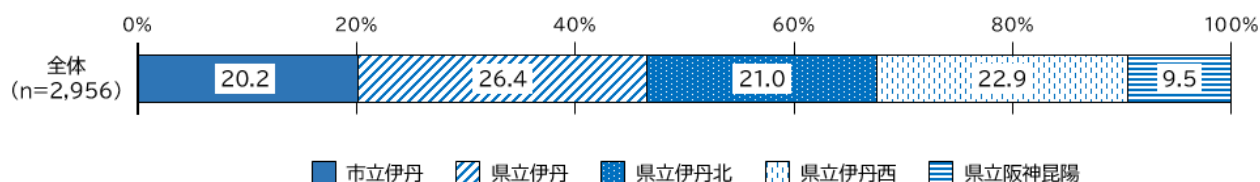


(2) 学校名 ※ (1) で「高校」を選択した方のみ

問. 通学している学校名を教えてください。

高校別では、「県立伊丹高等学校」が26.4%で最も高く、次いで「県立伊丹西高等学校」が22.9%、「県立伊丹北高等学校」が21.0%となっている。

図2 高校別

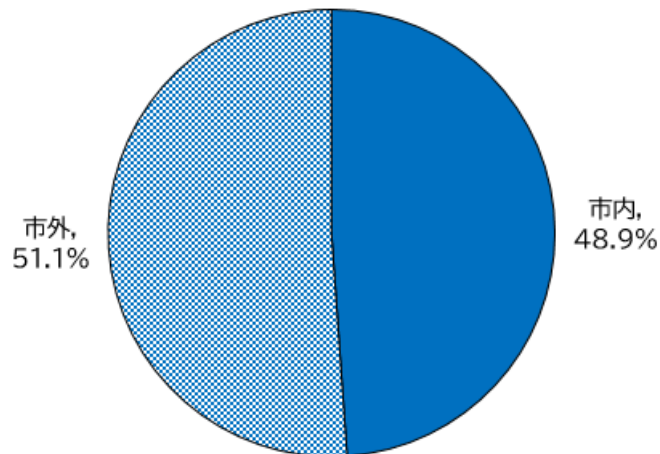


(3) 在住区分 ※ (1) で「高校」を選択した方のみ

問. 住んでいる場所について教えてください。

高校における在住区分は、「市外」が51.1%、「市内」が48.9%となっており、市外が市内よりも2.2ポイント高くなっている。

図3 在住区分

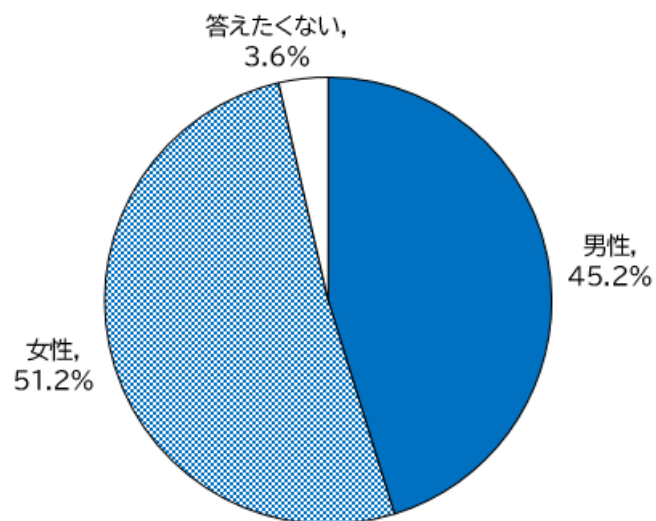


(4) 性別

問. あなたの性別を教えてください。

「女性」が51.2%、「男性」が45.2%となっており、女性が男性よりも6.0ポイント高くなっている。

図4 性別

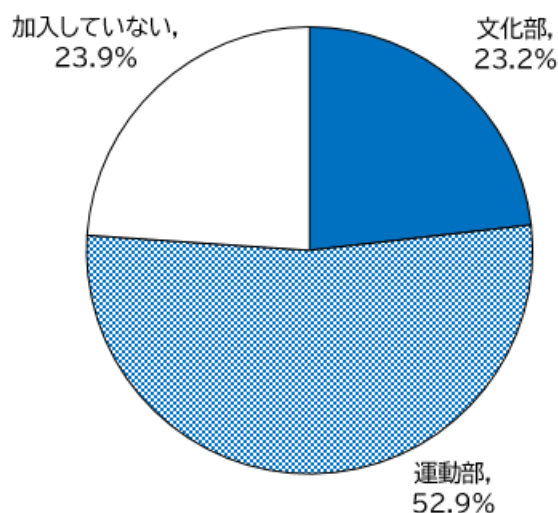


(5) 部活動

問. 現在の部活動の加入状況について教えてください。

「運動部」が52.9%、「文化部」が23.2%、「加入していない」が23.9%となっており、運動部が文化部よりも29.7ポイント高くなっている。

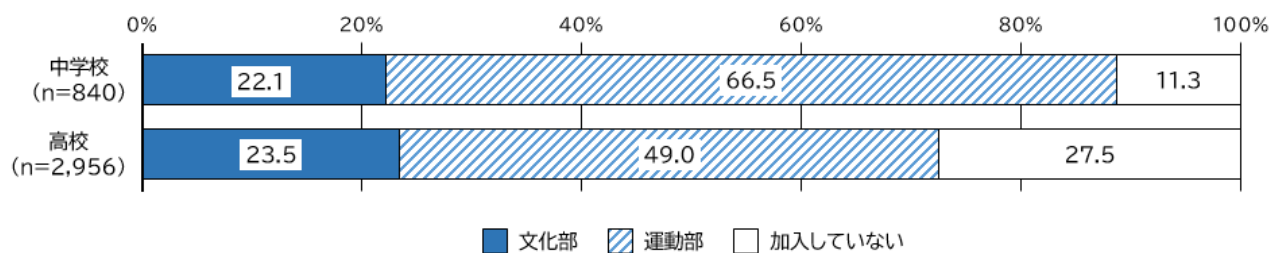
図5 部活動



【校種別】

中学校、高校とも「運動部」が最も高く、中学校は66.5%、高校は49.0%となっている。次いで、中学校は「文化部」が22.1%、「加入していない」が11.3%の順で、高校は「加入していない」が27.5%、「文化部」が23.5%の順となっている。

図6 校種別



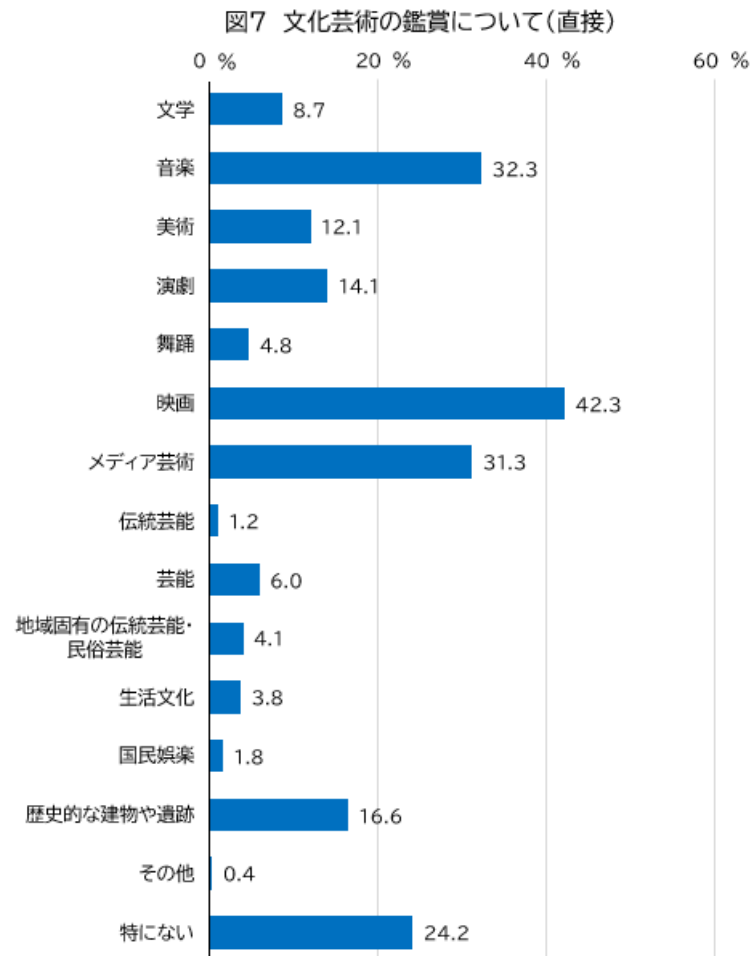
2. 文化芸術の鑑賞について

(1) 文化芸術の鑑賞について（直接）

Q1. あなたが、この1年間にホールや劇場などに行って実物を直接鑑賞したことがある文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

この1年間に鑑賞したことがある文化芸術は、「映画」が42.3%で最も高く、次いで「音楽」が32.3%、「メディア芸術」が31.3%、「歴史的な建物や遺跡」が16.6%となっている。



文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

【性別】

男性は「映画」が36.4%で最も高く、次いで「メディア芸術」が28.6%、「音楽」が27.6%、「歴史的な建物や遺跡」が16.1%となっている。女性は「映画」が48.4%で最も高く、次いで「音楽」が36.7%、「メディア芸術」が34.0%、「演劇」が17.7%となっている。「映画」は女性が男性よりも12.0ポイント高くなっている。また、「特にない」は男性が30.1%、女性が18.2%で男性が女性よりも11.9ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「映画」が41.0%で最も高く、次いで「メディア芸術」が38.3%、「音楽」が26.2%、「歴史的な建物や遺跡」が23.0%となっている。高校（市内）では「映画」が42.3%で最も高く、次いで「音楽」が34.9%、「メディア芸術」が28.9%、「歴史的な建物や遺跡」が14.5%となっている。高校（市外）では「映画」が43.0%で最も高く、次いで「音楽」が33.3%、「メディア芸術」が29.6%、「演劇」が17.4%となっており、「演劇」は高校（市外）が高校（市内）よりも4ポイント高くなっている。また、「特にない」は中学校が24.5%、高校（市内）が24.2%、高校（市外）が24.2%で、いずれも同水準となっている。

【部活動別】

文化部では「音楽」が45.0%で最も高く、次いで「映画」が41.6%、「メディア芸術」が40.7%、「歴史的な建物や遺跡」が21.6%となっている。運動部では「映画」が44.8%で最も高く、次いで「メディア芸術」が30.4%、「音楽」が28.6%、「歴史的な建物や遺跡」が17.1%となっている。非加入では「映画」が37.3%で最も高く、次いで「音楽」が28.3%、「メディア芸術」が24.0%、「演劇」が11.8%となっている。また、「特にない」は文化部が13.9%、運動部が25.4%、非加入が31.7%で、非加入が文化部よりも17.8ポイント高くなっている。

表1 文化芸術の鑑賞について（直接）

		回答者数（n）	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア芸術	伝統芸術	芸能	地域固有の伝統芸術・民俗芸術	生活文化	国民音楽	歴史的な建物や遺跡	その他	特にない
全体		3,796	8.7	32.3	12.1	14.1	4.8	42.3	31.3	1.2	6.0	4.1	3.8	1.8	16.6	0.4	24.2
性別	男性	1,716	6.9	27.6	8.8	9.2	1.3	36.4	28.6	0.6	5.7	2.7	2.4	2.6	16.1	0.3	30.1
	女性	1,945	10.0	36.7	15.0	17.7	7.8	48.4	34.0	1.5	6.2	5.1	4.9	0.9	16.9	0.6	18.2
	答えたくない	135	14.1	31.1	13.3	25.2	6.7	28.1	25.9	3.0	8.9	7.4	6.7	4.4	18.5	0.7	36.3
校種	中学校	840	11.0	26.2	16.1	9.6	6.4	41.0	38.3	1.5	9.4	5.5	5.0	3.0	23.0	0.5	24.5
	高校 市内	1,445	8.2	34.9	10.4	13.4	3.7	42.3	28.9	0.8	5.1	3.3	3.2	1.3	14.5	0.6	24.2
	市外	1,511	8.0	33.3	11.6	17.4	5.0	43.0	29.6	1.3	5.1	4.2	3.8	1.5	15.0	0.3	24.2
部活	文化部	880	12.8	45.0	20.8	20.3	6.0	41.6	40.7	1.6	6.9	6.3	7.4	2.2	21.6	0.6	13.9
	運動部	2,008	7.5	28.6	10.3	12.5	4.3	44.8	30.4	1.1	6.6	3.9	3.2	1.7	17.1	0.4	25.4
	加入していない	908	7.4	28.3	7.8	11.8	4.7	37.3	24.0	0.8	3.9	2.4	1.8	1.4	10.6	0.4	31.7

※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

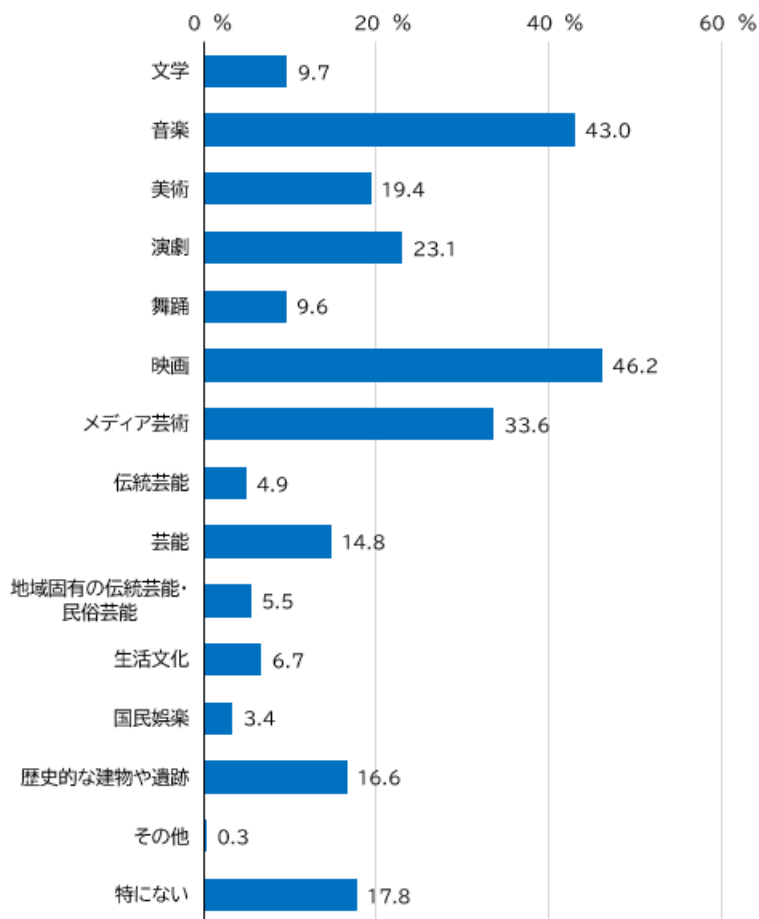
(2) 今後鑑賞したいと思う文化芸術について（直接）

Q2. あなたが、今後、ホールや劇場などに行って実物を直接鑑賞したいと思う文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※これまで鑑賞したことのある文化芸術も含む

今後鑑賞したいと思う文化芸術は、「映画」が46.2%で最も高く、次いで「音楽」が43.0%、「メディア芸術」が33.6%、「演劇」が23.1%となっている。

図8 今後鑑賞したいと思う文化芸術について(直接)



文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

【性別】

男性は「映画」が39.2%で最も高く、次いで「音楽」が36.9%、「メディア芸術」が30.2%、「歴史的な建物や遺跡」が18.1%となっている。女性は「映画」が53.1%で最も高く、次いで「音楽」が49.3%、「メディア芸術」が37.1%、「演劇」が34.1%となっている。「演劇」は女性が男性よりも23.6ポイント高くなっている。また、「特にない」は男性が24.8%、女性が10.8%で男性が女性よりも14.0ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「映画」が43.1%で最も高く、次いで「音楽」が40.8%、「メディア芸術」が40.0%、「美術」が22.1%となっている。高校（市内）では「映画」が46.3%で最も高く、次いで「音楽」が44.6%、「メディア芸術」が30.7%、「演劇」が23.9%となっている。高校（市外）では「映画」が47.8%で最も高く、次いで「音楽」が42.8%、「メディア芸術」が33.0%、「演劇」が23.8%となっており、高校では（市内）と（市外）に大きな差はなかった。また、「特にない」は中学校が18.1%、高校（市内）が18.0%、高校（市外）が17.4%で、いずれも同水準となっている。

【部活動別】

文化部では「音楽」が57.5%で最も高く、次いで「映画」が48.2%、「メディア芸術」が43.3%、「演劇」が33.2%となっている。運動部では「映画」が47.3%で最も高く、次いで「音楽」が40.5%、「メディア芸術」が31.6%、「演劇」が20.5%となっている。非加入では「映画」が41.7%で最も高く、次いで「音楽」が34.7%、「メディア芸術」が28.7%、「演劇」が18.9%となっている。また、「特にない」は文化部が9.9%、運動部が18.5%、非加入が23.8%で、非加入が文化部よりも13.9ポイント高くなっている。

表2 今後鑑賞したいと思う文化芸術について（直接）

		回答者数 (n)	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア 芸術	伝統 芸能	芸能	地域固有の 伝統芸能・ 民俗芸能	生活 文化	国民 娯楽	歴史的な 建物や遺 跡	その他	特 に な い
全体		3,796	9.7	43.0	19.4	23.1	9.6	46.2	33.6	4.9	14.8	5.5	6.7	3.4	16.6	0.3	17.8
性別	男性	1,716	7.6	36.9	13.6	10.5	3.7	39.2	30.2	3.7	14.7	4.5	4.1	4.9	18.1	0.2	24.8
	女性	1,945	11.3	49.3	24.5	34.1	14.7	53.1	37.1	5.6	15.2	6.2	8.8	1.7	15.3	0.4	10.8
	答えたくない	135	12.6	31.1	20.0	23.7	10.4	36.3	27.4	10.4	11.1	8.1	10.4	8.9	17.8	1.5	29.6
校種	中学校	840	10.8	40.8	22.1	20.4	12.7	43.1	40.0	6.9	18.2	7.5	11.2	5.8	21.0	0.2	18.1
	高校 市内	1,445	8.7	44.6	17.6	23.9	8.3	46.3	30.7	4.0	13.5	4.7	5.7	3.3	17.1	0.5	18.0
	市外	1,511	9.9	42.8	19.7	23.8	9.0	47.8	33.0	4.7	14.2	5.2	5.2	2.1	13.8	0.3	17.4
部活	文化部	880	16.1	57.5	30.1	33.2	12.6	48.2	43.3	7.6	18.4	6.6	11.0	3.1	19.7	0.3	9.9
	運動部	2,008	7.4	40.5	16.4	20.5	8.9	47.3	31.6	4.3	15.5	6.2	5.9	4.0	17.5	0.3	18.5
	加入していない	908	8.4	34.7	15.9	18.9	8.1	41.7	28.7	3.6	9.9	2.9	4.3	2.4	11.9	0.3	23.8

※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

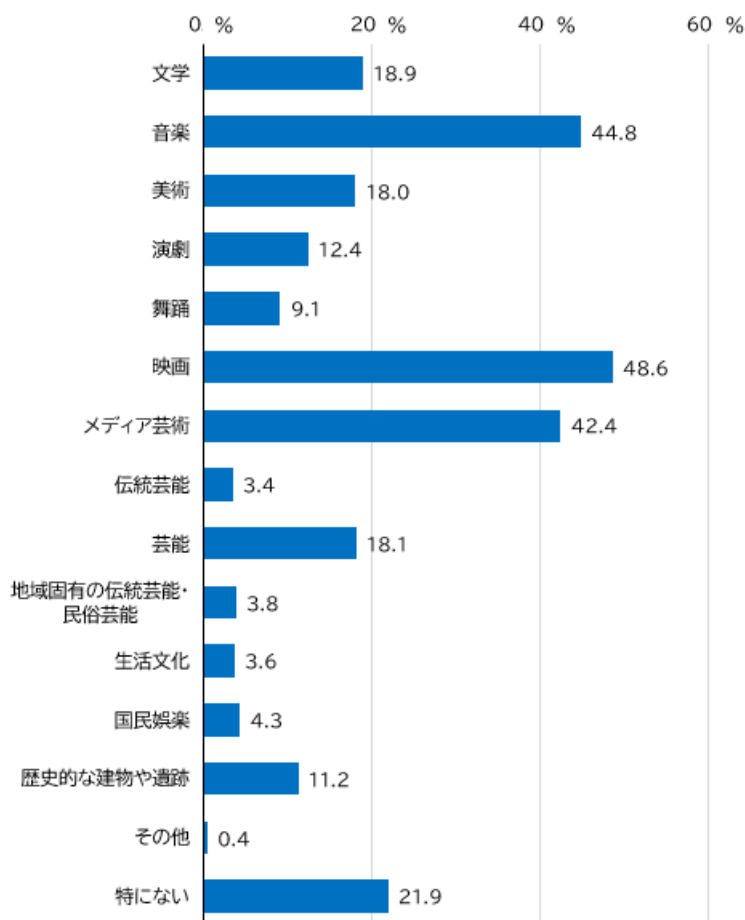
(3) 文化芸術の鑑賞について（デジタル）

Q3. あなたが、この1年間にテレビ、ラジオ、インターネット配信（スマホやタブレットなど）、CD・DVDなどにより、鑑賞したことがある文化芸術を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

この1年間にテレビやインターネット配信などデジタル機器等により鑑賞したことがある文化芸術は、「映画」が48.6%で最も高く、次いで「音楽」が44.8%、「メディア芸術」が42.4%、「文学」が18.9%となっている。

図9 文化芸術の鑑賞について(デジタル)



文化芸術の分野	内容
文学	小説・古典・短歌・俳諧・俳句など
音楽	オーケストラ・吹奏楽・ジャズ・ポップス・ロック・オペラなど
美術	絵画・版画・彫刻・工芸・陶芸・写真など
演劇	現代演劇・ミュージカル・人形劇など
舞踊	日本舞踊・バレエ・その他ダンス全般
映画	アニメ映画を除く
メディア芸術	アニメ映画・マンガ・コンピュータや映像を活用したアートなど
伝統芸能	歌舞伎・能楽・文楽・雅楽など
芸能	落語・漫才・講談・浪曲など
地域固有の伝統芸能・民俗芸能	地域の祭礼や行事など
生活文化	茶道・華道・書道など
国民娯楽	囲碁・将棋など
歴史的な建物や遺跡	建造物・遺跡・文化財など

【性別】

男性は「映画」が42.2%で最も高く、次いで「音楽」が41.2%、「メディア芸術」が39.5%、「芸能」が19.3%となっている。女性は「映画」が55.2%で最も高く、次いで「音楽」が48.4%、「メディア芸術」が45.4%、「文学」が22.1%となっている。「映画」は女性が男性よりも13.0ポイント高くなっている。また、「特にない」は男性が28.0%、女性が15.8%で男性が女性よりも12.2ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「音楽」が48.0%で最も高く、次いで「メディア芸術」が45.0%、「映画」が42.4%、「芸能」が22.3%となっている。高校（市内）では「映画」が47.9%で最も高く、次いで「音楽」が44.6%、「メディア芸術」が41.4%、「文学」が17.4%となっている。高校（市外）では「映画」が52.7%で最も高く、次いで「音楽」が43.3%、「メディア芸術」が42.0%、「文学」が19.7%となっており、高校では（市内）と（市外）に大きな差はなかった。また、「特にない」は中学校が23.3%、高校（市内）が22.7%、高校（市外）が20.3%で、いずれも同水準となっている。

【部活動別】

文化部では「音楽」が60.7%で最も高く、次いで「メディア芸術」が53.0%、「映画」が47.8%、「文学」が30.6%となっている。運動部では「映画」が50.4%で最も高く、次いで「音楽」が41.6%、「メディア芸術」が40.7%、「芸能」が19.0%となっている。非加入では「映画」が45.3%で最も高く、次いで「音楽」が36.6%、「メディア芸術」が36.0%、「文学」が16.7%となっている。また、「特にない」は文化部が13.0%、運動部が23.0%、非加入が28.2%で、非加入が文化部よりも15.2ポイント高くなっている。

表3 文化芸術の鑑賞について（デジタル）

		回答者数（n）	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア芸術	伝統芸能	芸能	地域固有の伝統芸能・民俗芸能	生活文化	国民娯楽	歴史的な建物や遺跡	その他	特にない
全体		3,796	18.9	44.8	18.0	12.4	9.1	48.6	42.4	3.4	18.1	3.8	3.6	4.3	11.2	0.4	21.9
性別	男性	1,716	15.0	41.2	14.9	7.2	4.8	42.2	39.5	3.1	19.3	3.4	3.0	5.9	12.8	0.3	28.0
	女性	1,945	22.1	48.4	20.5	16.9	13.1	55.2	45.4	3.4	17.3	3.8	4.0	2.8	9.6	0.4	15.8
	答えたくない	135	23.0	40.0	22.2	14.1	6.7	33.3	37.0	5.9	14.8	8.9	6.7	5.9	14.1	0.7	31.9
校種	中学校	840	20.0	48.0	21.4	14.2	11.0	42.4	45.0	5.8	22.3	6.4	5.7	6.8	16.5	0.6	23.3
	高校 市内	1,445	17.4	44.6	16.5	11.3	8.0	47.9	41.4	2.4	15.7	2.8	2.4	3.4	10.0	0.5	22.7
	市外	1,511	19.7	43.3	17.7	12.4	9.1	52.7	42.0	3.0	18.1	3.2	3.7	3.8	9.4	0.1	20.3
部活	文化部	880	30.6	60.7	28.9	20.7	13.2	47.8	53.0	5.0	21.3	4.9	6.1	4.3	14.2	0.6	13.0
	運動部	2,008	14.8	41.6	15.0	10.0	8.0	50.4	40.7	3.3	19.0	3.7	3.2	4.8	11.6	0.3	23.0
	加入していない	908	16.7	36.6	14.2	9.6	7.6	45.3	36.0	2.1	13.1	2.9	2.2	3.1	7.5	0.3	28.2

※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

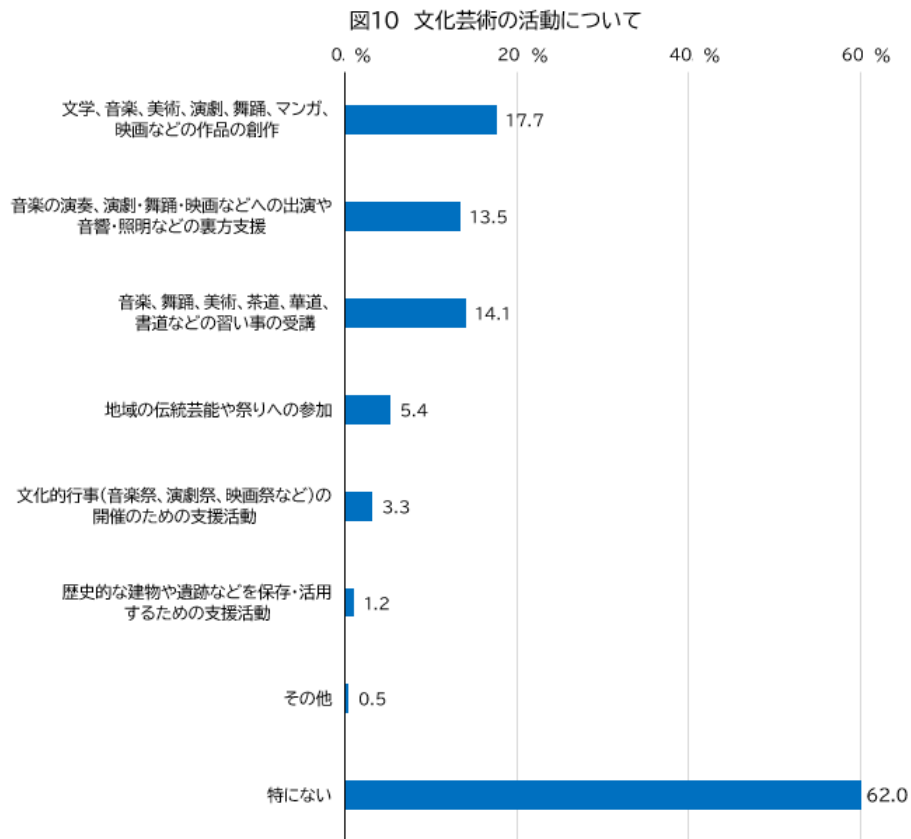
3. 文化芸術の活動について

(1) 文化芸術の活動について

Q4. あなたが、この1年間に自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりした文化芸術活動を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く・部活動は含む

この1年間に行ったことがある文化芸術活動は、「作品の創作」が17.7%、「習い事の受講」が14.1%、「出演や裏方支援」が13.5%、「地域の伝統芸能や祭りへの参加」が5.4%の順となっており、「特にない」は62.0%で最も高くなっている。



【性別】

男性は「作品の創作」が13.6%で最も高く、その他の全ての項目が一桁台となっている。女性は「作品の創作」と「習い事の受講」が共に20.6%で最も高くなっている。また、「特にない」は男性が72.7%、女性が53.1%で男性が女性よりも19.6ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「習い事の受講」が18.7%で最も高く、次いで「作品の創作」が17.4%となっている。高校（市内）では「作品の創作」が17.2%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が14.1%となっている。高校（市外）では「作品の創作」が18.3%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」と「習い事の受講」がともに14.0%となっている。

【部活動別】

文化部では「作品の創作」が36.3%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が32.0%となっており、運動部・非加入と比べて2倍以上高くなっている。また、「特にない」は文化部が32.6%、運動部が70.1%、非加入が72.5%で、非加入が文化部よりも39.9ポイント高くなっている。

表4 文化芸術の活動について

(%)

		回答者数 (n)	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作	音楽の演奏、演劇・舞踊・映画などへの出演や音響・照明などの裏方支援	音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講	地域の伝統芸能や祭りへの参加	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特にない	
全体		3,796	17.7	13.5	14.1	5.4	3.3	1.2	0.5	62.0	
性別	男性	1,716	13.6	8.4	6.8	3.9	2.3	1.6	0.3	72.7	
	女性	1,945	20.6	17.6	20.6	6.5	4.0	0.6	0.4	53.1	
	答えたくない	135	27.4	17.8	12.6	8.1	5.9	4.4	3.7	52.6	
校種	中学校	840	17.4	11.3	18.7	7.1	2.9	1.7	0.8	59.8	
	高校	市内	1,445	17.2	14.1	11.4	4.2	3.1	0.7	0.3	64.4
		市外	1,511	18.3	14.0	14.0	5.6	3.6	1.3	0.5	60.9
部活	文化部	880	36.3	32.0	24.2	7.0	5.9	0.8	1.3	32.6	
	運動部	2,008	11.7	7.6	12.2	5.5	2.6	1.2	0.2	70.1	
	加入していない	908	12.8	8.4	8.5	3.4	2.1	1.3	0.3	72.5	

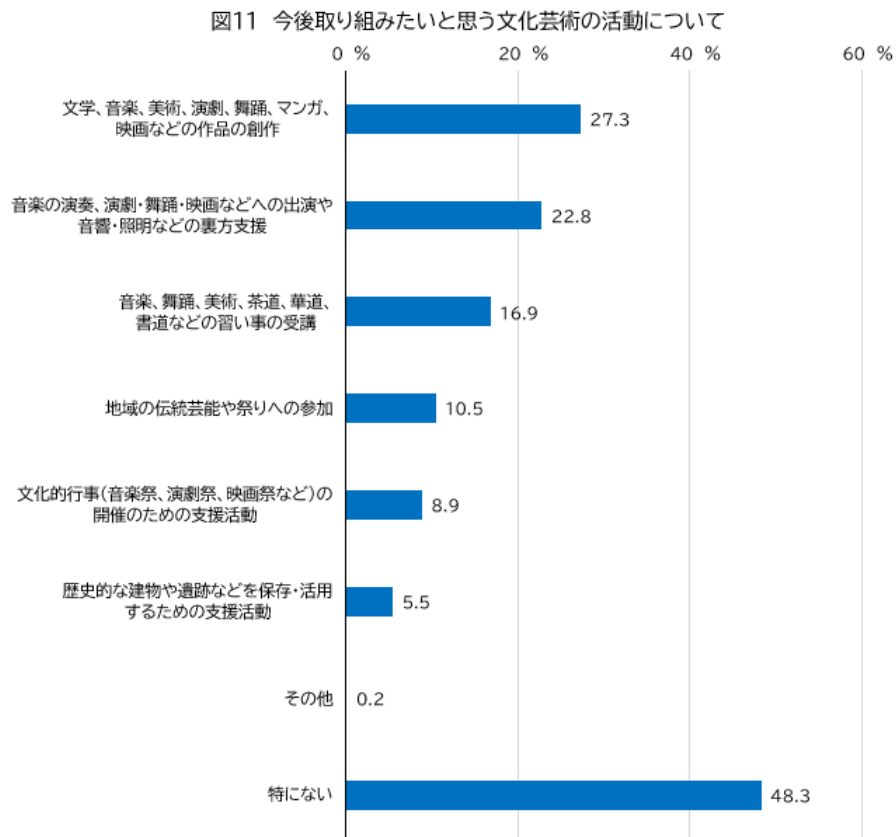
※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

(2) 今後取り組みたいと思う文化芸術の活動について

Q5. あなたが、今後、自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりしたいと思う文化芸術活動を教えてください。(あてはまるものを全て選んでください)

※現在取り組んでいる文化芸術活動も含む

今後取り組みたいと思う文化芸術活動は、「作品の創作」が27.3%、「出演や裏方支援」が22.8%、「習い事の受講」が16.9%、「地域の伝統芸能や祭りへの参加」が10.5%の順となっており、「特にない」が48.3%で最も高くなっている。



【性別】

男性は「作品の創作」が20.4%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が15.2%となっている。女性は「作品の創作」が33.1%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が29.5%となっている。また、「特にない」は男性が60.1%、女性が37.8%で男性が女性よりも22.3ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「作品の創作」が29.6%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が22.0%となっている。高校（市内）では「作品の創作」が24.8%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が23.0%となっている。高校（市外）では「作品の創作」が28.5%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が23.1%となっている。

【部活動別】

文化部では「作品の創作」が49.8%で最も高く、次いで「出演や裏方支援」が42.6%となっており、運動部・非加入と比べて2倍以上高くなっている。また、「特にない」は文化部が23.4%、運動部が53.9%、非加入が60.2%で、非加入が文化部よりも36.8ポイント高くなっている。

表5 今後取り組みたいと思う文化芸術の活動について

		回答者数 (n)	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作	音楽の演奏、演劇・舞踊・映画などへの出演や音響・照明などの裏方支援	音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講	地域の伝統芸能や祭りへの参加	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特にない	
全体		3,796	27.3	22.8	16.9	10.5	8.9	5.5	0.2	48.3	
性別	男性	1,716	20.4	15.2	8.9	8.2	5.5	6.6	0.2	60.1	
	女性	1,945	33.1	29.5	23.6	12.7	11.7	4.2	0.2	37.8	
	答えたくない	135	31.9	24.4	23.0	9.6	11.1	10.4	0.7	50.4	
校種	中学校	840	29.6	22.0	18.3	13.1	9.8	7.9	0.1	48.2	
	高校	市内	1,445	24.8	23.0	15.6	9.6	7.6	4.7	0.1	49.8
		市外	1,511	28.5	23.1	17.4	10.1	9.7	5.0	0.3	47.1
部活	文化部	880	49.8	42.6	27.6	13.3	15.5	5.3	0.1	23.4	
	運動部	2,008	20.9	16.9	14.5	11.5	7.5	6.2	0.2	53.9	
	加入していない	908	19.7	16.7	11.8	5.8	5.6	4.2	0.2	60.2	

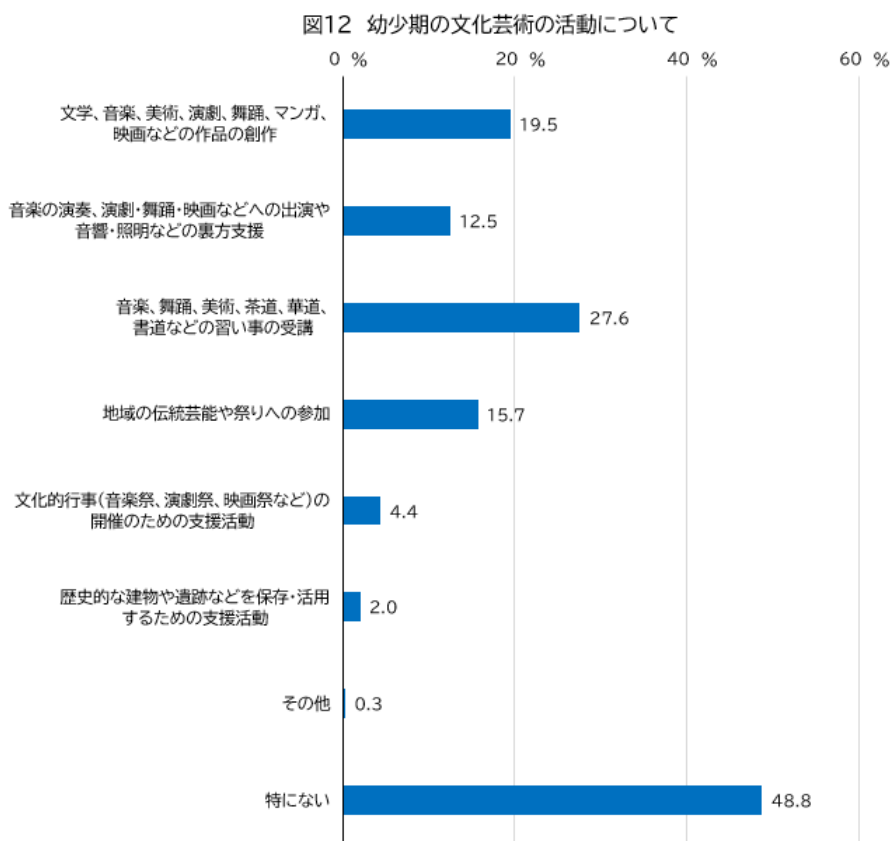
※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

(3) 幼少期の文化芸術の活動について

Q6. あなたが、幼少期（小学校を卒業するまでの間）に自分自身で作品を作ったり、習ったり、活動の支援を行ったりした文化芸術活動を教えてください。（あてはまるものを全て選んでください）

※学校行事や授業は除く

幼少期に取り組んだことのある文化芸術活動は、「習い事の受講」が27.6%、「作品の創作」が19.5%、「地域の伝統芸能や祭りへの参加」が15.7%の順となっており、「特にない」が48.8%で最も高くなっている。



【性別】

男性は「作品の創作」が14.4%で最も高く、次いで「習い事の受講」が13.9%となっている。女性は「習い事の受講」が40.3%で最も高く、次いで「作品の創作」が23.8%となっている。また、「特にない」は男性が64.3%、女性が34.6%で男性が女性よりも29.7ポイント高くなっている。

【校種別】

中学校では「習い事の受講」が27.6%で最も高く、次いで「作品の創作」が20.8%となっている。高校（市内）では「習い事の受講」が26.4%で最も高く、次いで「作品の創作」が18.9%となっている。高校（市外）では「習い事の受講」が28.8%で最も高く、次いで「作品の創作」が19.4%となっている。

【部活動別】

文化部では「習い事の受講」が37.2%で最も高く、次いで「作品の創作」が31.0%となっており、運動部・非加入と比べて高くなっている。また、「特にない」は文化部が34.1%、運動部が51.6%、非加入が56.8%で、非加入が文化部よりも22.7ポイント高くなっている。

表6 幼少期の文化芸術の活動について

(%)

	回答者数 (n)	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作	音楽の演奏、演劇・舞踊・映画などへの出演や音響・照明などの裏方支援	音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講	地域の伝統芸能や祭りへの参加	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特にない		
全体	3,796	19.5	12.5	27.6	15.7	4.4	2.0	0.3	48.8		
性別	男性	1,716	14.4	7.3	13.9	11.7	3.8	2.2	0.2	64.3	
	女性	1,945	23.8	17.3	40.3	19.6	4.7	1.7	0.4	34.6	
	答えたくない	135	23.7	10.4	19.3	10.4	8.1	4.4	0.7	56.3	
校種	中学校	840	20.8	12.7	27.6	16.9	5.5	3.6	0.5	49.2	
	高校	市内	1,445	18.9	12.4	26.4	15.5	3.5	1.2	0.5	50.3
		市外	1,511	19.4	12.6	28.8	15.3	4.8	2.0	0.1	47.2
部活	文化部	880	31.0	17.8	37.2	19.4	4.7	1.8	0.7	34.1	
	運動部	2,008	16.7	10.7	25.7	15.7	4.7	2.0	0.1	51.6	
	加入していない	908	14.6	11.5	22.5	12.2	3.5	2.3	0.4	56.8	

※濃い網掛けは、全体平均より10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、全体平均より5ポイント以上高いものである。

(4) 幼少期の文化芸術の活動体験からみた各設問の傾向

Q6の回答内容を「幼少期に何かしらの活動体験がある」と「特にない」に分類し、それぞれQ1～Q5の設問に対する回答の状況を整理した。Q1～Q5全ての設問において、幼少期に何かしらの「活動体験がある」と回答した人が「特にない」と回答した人を上回る結果となった。

なお、Q6は複数選択可の設問であるため、有効サンプル数が実際の回答者数3,796件を超えている。

表7 Q1. 文化芸術の鑑賞について（直接）

(%)

		回答者数 (n)	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア芸術	伝統芸能	芸能	地域固有の 伝統芸能・ 民俗芸能	生活文化	国民 娯楽	歴史的な 建物や遺跡	その他	特 に ない
Q6	活動体験がある	3,119	14.9	44.3	22.1	21.6	10.9	53.4	43.1	3.0	9.9	9.0	8.9	4.3	25.9	0.9	11.3
	特にない	1,853	5.0	24.2	6.3	9.6	1.5	34.3	24.0	0.5	3.8	2.0	0.8	0.9	11.2	0.5	35.3

※濃い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して5ポイント以上高いものである。

表8 Q2. 今後鑑賞したいと思う文化芸術について

(%)

		回答者数 (n)	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア芸術	伝統芸能	芸能	地域固有の 伝統芸能・ 民俗芸能	生活文化	国民 娯楽	歴史的な 建物や遺跡	その他	特 に ない
Q6	活動体験がある	3,119	16.8	59.1	31.9	35.3	18.1	56.0	45.2	8.6	21.4	10.6	13.8	5.5	24.0	0.7	6.3
	特にない	1,853	5.8	31.6	12.0	14.6	4.7	39.7	26.7	3.1	11.1	3.6	3.0	2.5	12.5	0.3	28.7

※濃い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して5ポイント以上高いものである。

表9 Q3. 文化芸術の鑑賞について（デジタル）

(%)

		回答者数 (n)	文学	音楽	美術	演劇	舞踊	映画	メディア芸術	伝統芸能	芸能	地域固有の伝統芸能・民俗芸能	生活文化	国民娯楽	歴史的な建物や遺跡	その他	特にない
Q6	活動体験がある	3,119	31.1	62.6	31.5	23.7	18.4	60.1	55.0	7.0	27.9	8.6	8.4	8.3	18.6	1.1	8.6
	特にない	1,853	12.2	33.0	10.6	6.3	3.9	40.3	34.1	2.1	12.6	2.1	1.6	2.8	7.9	0.2	33.9

※濃い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して5ポイント以上高いものである。

表10 Q4. 文化芸術の活動について

(%)

		回答者数 (n)	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作	音楽の演奏、演劇・舞踊・映画などへの出演や音響・照明などの裏方支援	音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講	地域の伝統芸能や祭りへの参加	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特にない
Q6	活動体験がある	3,119	32.5	26.4	28.5	12.2	8.3	3.1	1.1	36.3
	特にない	1,853	7.8	5.9	3.6	1.8	1.2	0.7	0.3	83.0

※濃い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して5ポイント以上高いものである。

表11 Q5. 今後取り組みたいと思う文化芸術の活動について

(%)

		回答者数 (n)	文学、音楽、美術、演劇、舞踊、マンガ、映画などの作品の創作	音楽の演奏、演劇・舞踊・映画などへの出演や音響・照明などの裏方支援	音楽、舞踊、美術、茶道、華道、書道などの習い事の受講	地域の伝統芸能や祭りへの参加	文化的行事（音楽祭、演劇祭、映画祭など）の開催のための支援活動	歴史的な建物や遺跡などを保存・活用するための支援活動	その他	特にない
Q6	活動体験がある	3,119	43.1	37.3	32.6	21.3	18.2	9.7	0.6	25.8
	特にない	1,853	16.2	13.5	5.9	4.5	3.8	3.8	0.1	68.2

※濃い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して10ポイント以上高いもの、薄い網掛けは、活動体験があると特にないで比較して5ポイント以上高いものである。

こども世代に対する文化に関するアンケート調査
報告書

令和5（2023）年12月

伊丹市 都市活力部 まち資源室 文化振興課

〒664-8503 兵庫県伊丹市千僧1丁目1番地

TEL 072-784-8043

FAX 072-784-8048